

財団法人 三共生命科学研究振興財団
平成 22 年度 海外共同研究支援助成応募要領

1. 助成対象者

生命科学、特に疾病の予防と治療に関する諸分野の基礎的研究並びに臨床への応用的研究分野において、海外の学者と共同研究を行っている、日本国内在住の研究者。

2. 助成対象

- (1) 平成 22 年 7 月 1 日から平成 23 年 6 月 30 日までの間に共同研究のために海外派遣・招聘する者を対象とする。
- (2) 助成金の交付先はその海外学者との共同研究を行っている日本国内在住の研究者。

3. 助成対象外

- (1) 未実施・計画中の共同研究
- (2) 国及び他機関より多額の助成金を得ている共同研究
- (3) 同一申請者の暦年連続助成
- (4) 自己推薦者、推薦者と同一の研究室に所属している者並びに財団関係者等（理事・評議員・選考委員及び理事長の指名する者*）

* 名誉理事・当財団褒賞受賞者（高峰記念三共賞受賞者）

4. 助成金額・使途・件数

共同研究打ち合わせを目的とした海外への渡航・海外学者来日のための航空運賃又は滞在費の補助として、1 件あたり 50 万円を助成します。

助成件数は「シンポジウム開催助成」と併せて 10 件の予定。

5. 応募方法

- (1) 当財団より、全国の大学大学院研究科長、研究機関長或いは当財団の理事・評議員及び理事長の指名する者宛に、応募要領、推薦のためのガイドライン、所定の推薦書を送付いたします。
- (2) 推薦者は、応募者の中から、以下のガイドラインに基づき、公正に推薦をお願いします。尚、推薦は、原則、1 推薦者 1 件とします。
 - ① 共同研究テーマの先進性、独創性
 - ② 共同研究テーマの期待しうる成果
 - ③ 研究者の研究能力
- (3) 応募者は、所属する大学大学院研究科長、研究機関長或いは当財団の理事・評議員及び理事長の指名する者のいずれかより推薦書を得て、以下の書類を、当財団宛に締切日までに提出して下さい。

①推薦書（推薦者の捺印を要します）：1部

②申請書（当財団ホームページから書式をダウンロードして下さい）：4部

③共同研究に関連する申請者の論文別刷（コピー可）：4部

(4) 提出先：郵便または宅配便にて発送して下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂3-12-5 共友ビル

財団法人 三共生命科学研究振興財団 海外共同研究支援助成担当宛

6. 応募受付期間

平成22年1月15日から平成22年2月28日（消印有効）

7. 選考方法

提出頂いた資料をもとに選考委員会（平成22年4月）で選考の上、理事会で決定します（平成22年6月）。

8. 決定通知

平成22年6月30日までに推薦者及び申請者宛に通知します。

9. 招聘助成金の交付

平成22年7月以降必要な時期までに、申請者（代理不可）に当財団事務所にて支給します。但し、交通費は支給しません。

10. 成果の報告と期日

渡航・招聘終了後1ヵ月以内に申請者から当財団あて共同研究に関する論文又は会合報告書（会計報告を含む）を提出願います。

11. 個人情報保護法に関する事項

- (1) 当財団が本件助成に関して取得する個人情報は、選考作業や助成の可否など本申請に関する業務に必要な範囲に限定して取り扱います。
- (2) 当財団は本件助成が決定した場合、決定者に関する情報を当財団ホームページ上に一般公開するほか、公益財団法人助成財団センターに提供します。
- (3) 推薦書は採否にかかわらず一切返却しません。

財団法人 三共生命科学研究振興財団

(Sankyo Foundation of Life Science)

〒107-0052 東京都港区赤坂3-12-5 共友ビル

TEL 03-3588-1816 FAX 03-3588-1815

E-mail: info@sankyo-fdn.or.jp

平成 22 年 1 月

財団法人 三共生命科学研究振興財団

海外共同研究支援助成応募者選定ガイドライン

三共生命科学研究振興財団の海外共同研究支援助成の応募に当たり、下記のガイドラインに基づき、公正、かつ公平に推薦者の選定をお願いいたします。

記

1. 推薦者の資格：生命科学分野を専門とする全国の大学大学院研究科長、研究機関長或いは当財団の名誉理事、理事、評議員及び当財団の褒賞受賞者
2. 推薦数：推薦者の推薦者数は、原則 1 件とする。
3. 応募期間：平成 22 年 1 月 15 日から平成 22 年 2 月 28 日
4. 応募者の選定基準
 - (1) 当該助成応募の対象となる共同研究テーマが、当財団の設立趣旨に合致し、先進性、独創性を有していること。
 - (2) 共同研究計画が具体的であり、また、研究成果が将来、臨床応用、創薬に波及が見込まれること。
 - (3) 応募者の研究業績が優れており、当該共同研究計画を遂行できる能力を有し、準備状況が示されていること。
 - (4) その他、応募者を特に推薦する理由を示すこと。

5. 応募者の選定除外対象

- (1) 応募対象の共同研究が未実施又は計画中の場合
- (2) 対象外分野
 - a. 医療機器分野
 - b. 看護分野
 - c. 食品科学（健康食品を含む）分野、農薬分野
- (3) 応募者の共同研究が国及び他機関より多額の助成金を得ている場合
- (4) 同一応募者の暦年連続助成
- (5) 推薦者による応募、また、推薦者と同一の研究室に所属している者の応募、推薦者の親族による応募
- (6) 財団関係者等（名誉理事、理事、評議員、選考委員及び当財団褒賞受賞者）の応募

以上

海外共同研究支援助成申請者	
氏名	
住所（〒 ）	TEL
所属機関	職名
所在地（〒 ）	TEL
	FAX
E-mail :	
海外共同研究者	
氏名	
所属機関	
共同研究テーマ	
共同研究打ち合わせについて	
(1) どちらかに○印を付けてください。 (渡 航 ・ 招 聘)	
(2) 渡航・招聘期間：	

財団法人 三共生命科学研究振興財団
第 8 回(平成 22 年度)高峰記念三共賞 候補者推薦要領

1. 趣旨

本賞は三共生命科学研究振興財団設立 20 周年を記念して創設したもので、財団出捐母体である三共株式会社（現第一三共株式会社）の初代社長・高峰讓吉博士の研究業績を顕彰して命名したものであります。

2. 候補者

日本国内において、生命科学、特に疾病の予防と治療に関する諸分野の基礎的研究並びに臨床への応用的研究において、その進歩・発展に顕著な功績をあげ、活躍中の研究者。

(文化功労者など顕彰・受賞された方のご推薦はご遠慮下さい)

3. 推薦者

全国の生命科学分野を専門とする大学大学院研究科長、研究機関長並びに当財団の役員、評議員、選考委員、過去の受賞者及び理事長の推薦する者（但し、高峰三共賞審査委員は除く）。

4. 推薦方法

(1) 所定の用紙（別紙参照）に必要事項を記入し、当財団あてにご送付下さい。

尚、候補者の業績を端的に示す論文 2 報を添付願います。

(2) 複数推薦可

(3) 自薦は不可とし、かつ、候補者本人の申請の意思の有無の確認は不要です。

5. 推薦受付期間

平成 22 年 1 月 15 日から 22 年 2 月 28 日（消印有効）

6. 選考方法

(1) 推薦された候補者（第一次候補者）の中から、選考委員会により第二次候補者の絞り込みを実施（4 月）。

(2) 事務局より、第二次候補者に対し、応募の意思を確認した上で、審査に必要な応募申請書の提出を依頼する。

(3) 高峰三共賞審査委員会において、最終候補者を選定し、理事会に於いて、受賞者を決定する。

7. 褒賞の方法および贈呈

- (1) 賞状、賞牌並びに副賞（1,000万円）、贈呈者数は1名。
- (2) 贈呈式は平成23年2月に実施予定。

8. 受賞記念シンポジウムの開催

褒賞受賞者の同意を得て、受賞テーマに沿ったシンポジウムを開催します（基調講演及びシンポジウムの開催）。

9. 個人情報保護法に関する事項

- (1) 当財団が本件候補者に関して取得する個人情報は、選考作業など本賞審査に関する業務に必要な範囲に限定して取り扱います。
- (2) 推薦書は採否にかかわらず一切返却しません。

○ 応募申請書用紙送付先および連絡先

財団法人 三共生命科学研究振興財団 (Sankyo Foundation of Life Science)

〒107-0052 東京都港区赤坂3-12-5 共友ビル4F

電話：03-3588-1816 FAX：03-3588-1815

E-mail：info@sankyo-fdn.or.jp

【高峰賞】

第 8 回 (平成 22 年度) 高峰記念三共賞

候 補 者 推 薦 書

財団法人 三共生命科学研究振興財団 行

I：推薦候補者名	
氏 名： (フリガナ)	
所属機関：	役 職：
II：推薦理由(業績の内容、特徴などを説明して下さい)	
III：候補者の主要業績を示す代表論文(2報)1部の添付をお願いいたします。	

上記の通り高峰記念三共賞の候補者を推薦します。

平成 年 月 日

所属機関
所属

推薦者氏名



(ご参考)

高峰記念三共賞過去の受賞者

年度	氏名	受賞研究
第1回 平成15年	北村幸彦教授 大阪大学大学院生命機能研究科	肥満細胞とカハール介在細胞分化と癌化
第2回 平成16年	門脇 孝教授 東京大学大学院医学系研究科	2型糖尿病の分子機構の解明
第3回 平成17年	坂口志文教授 京都大学再生医科学研究所	制御性 T 細胞による免疫応答制御の研究
第4回 平成18年	柴崎正勝教授 東京大学大学院薬学系研究科	原子効率の革新を志向した不斉触媒の創製
第5回 平成19年	満屋裕明教授 熊本大学大学院医学薬学研究部	AIDS に対する治療法の研究・開発
第6回 平成20年	山中伸弥教授 京都大学物質・細胞統合システム拠点	多能性幹細胞の維持と誘導
第7回 平成21年	杉山雄一教授 東京大学大学院薬学系研究科	薬物体内動態における薬物トランスポーターの役割解明

平成 21 年 12 月現在

財団法人 三共生命科学研究振興財団概要

財団法人 三共生命科学研究振興財団は、生命科学分野における独創的な研究を援助奨励するとともに国際交流の推進を図り、学術の振興及び人類の健康と福祉の向上に寄与することを目的として、三共株式会社（現 第一三共株式会社）の出捐により、昭和 58 年（1983）11 月に文部大臣（現文部科学大臣）の許可を得て設立された。

設立以来、目的達成に向けて、生命科学、特に疾病の予防と治療に関する諸分野の基礎的研究並びに臨床への応用研究に関する研究助成、国際交流援助（共同研究支援助成、国際シンポジウム開催助成）、若手研究者の海外留学支援（三共フェローシップ奨学研究助成）などの助成事業並びに生命科学の進歩・発展に顕著な功績をあげ、かつ活躍中の研究者に対する褒賞事業を行っている。

目 的

この法人は、生命科学特に疾病の予防と治療に関する諸分野の基礎的研究並びに臨床への応用的研究を助成することにより、この分野の研究の振興を図り、もって、人類の健康と福祉の増進に寄与することを目的とする。

事 業

この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 生命科学の研究の助成
- (2) 生命科学に関する研究を行う外国人の招聘及び我が国の研究者の海外派遣に対する助成
- (3) 生命科学に関する研究会、シンポジウムの開催及び開催の助成
- (4) 生命科学の研究のために留学する若手研究者への奨学研究助成
- (5) 生命科学に関する研究の進歩発展に顕著な功績のあった研究者に対する褒賞

その他前条の目的を達成するために必要な事業

財団の概要

出捐会社 第一三共株式会社
基本財産 10億300万円
主務官庁 文部科学省研究振興局研究助成課
設立月日 昭和58年11月1日
特定公益増進法人許可日 平成20年3月31日（更新）

事業の概要

助成事業	概要
研究助成	200万円（100万円×2年）、30件
海外共同研究支援助成	50万円、シンポジウム開催助成と併せて、10件
シンポジウム開催助成	50万円、海外共同研究支援助成と併せて、10件
三共“フェロシップ”奨学研 究助成	600万円（300万円×2年）、5件
褒賞事業	概要
研究業績褒賞	第8回高峰記念三共賞 1件
高峰カンファレンス	第8回高峰記念三共賞受賞テーマに関連するシンポジウムの開催

財団役員（平成21年12月現在）

理事長	池上康弘	第一三共株式会社相談役
常務理事	森田明	三共生命科学研究振興財団
理事	尾前照雄	国立循環器病センター名誉総長
	岸本忠三	大阪大学大学院生命機能研究科教授
	齋藤英彦	名古屋セントラル病院院長
	杉村隆	国立がんセンター名誉総長
	高久史麿	自治医科大学学長
	豊島久真男	理化学研究所研究顧問
	廣部雅昭	静岡県学術教育政策顧問
	別府輝彦	東京大学名誉教授
	萬年徹	社）三井記念病院名誉院長
	矢崎義雄	独）国立病院機構理事長
	山田康之	国立奈良先端科学技術大学院大学名誉教授
	吉永馨	宮城県成人病予防協会会長

監 事	牧 野 光 宏	牧野公認会計士事務所所長
	渡 邊 亮 一	第一三共株式会社 財務経理部部長
名誉理事	織 田 敏 次	日本赤十字医療センター名誉院長
	早 石 修	大阪バイオサイエンス研究所理事長
	松 井 正 直	東京大学名誉教授
評議員会議長	金 澤 一 郎	日本学術会議 会長
評 議 員	板 倉 光 夫	徳島大学疾患ゲノム研究センター教授
	市 川 厚	武庫川女子大学薬学部教授
	今 井 潤	東北大学大学院薬学・医学研究科教授
	内 山 卓	財) 田附興風会 医学研究所 北野病院院長
	衛 藤 義 勝	東京慈恵会医科大学遺伝病研究講座教授
	荻 原 俊 男	大阪府立急性期・総合医療センター 院長
	小 俣 政 男	山梨県立中央病院特別顧問
	木 村 哲	東京通信病院院長
	黒 川 清	政策研究大学院大学教授
	小 池 隆 夫	北海道大学大学院医学研究科教授
	猿 田 享 男	慶應義塾大学 名誉教授
	居 石 克 夫	独) 国立病院機構福岡東医療センター研究教育部長
	中 釜 斉	国立がんセンター研究所 副所長
	中 西 重 忠	大阪バイオサイエンス研究所 所長
	長 野 哲 雄	東京大学大学院薬学系研究科教授
	秦 順 一	国立成育医療センター 名誉総長
	堀 田 知 光	独) 国立病院機構 名古屋医療センター 院長
	溝 口 秀 昭	東京女子医科大学 名誉教授
	森 謙 治	東京大学名誉教授
選考委員長	村 松 正 實	埼玉医科大学ゲノム医学研究センター客員教授
委 員	伊 藤 貞 嘉	東北大学大学院医学系研究科内科教授
	大 谷 浩	鳥根大学医学部教授
	堅 田 利 明	東京大学大学院薬学系研究科教授
	加 藤 茂 明	東京大学分子細胞生物学研究所教授
	金 田 安 史	大阪大学大学院医学系研究科教授
	清 原 裕	九州大学大学院医学研究院教授
	小 室 一 成	千葉大学大学院医学研究院教授
	辻 省 次	東京大学大学院医学系研究科教授
	西 村 正 治	北海道大学大学院医学研究科教授

橋 田	充	京都大学大学院薬学研究科教授
福 山	透	東京大学大学院薬学系研究科教授
松 本	俊 夫	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部教授
湊	長 博	京都大学大学院医学研究科教授
山 本	博	金沢大学大学院医学研究科教授

財団法人 三共生命科学研究振興財団

(Sankyo Foundation of Life Science)

〒107-0052 東京都港区赤坂3-12-5 共友ビル

TEL 03-3588-1816 FAX 03-3588-1815

E-mail : info@sankyo-fdn.or.jp